

再び大空を舞うこいのぼり！

23日、杉並区堀ノ内1丁目19番の済美養護学校と堀ノ内2丁目5番の済美教育センターの間を流れる善福寺川の上空に、60匹あまりのこいのぼりが舞っています。この行事は、地元の堀ノ内一・二丁目町会が毎年開催している「善福寺川鯉のぼりの川渡し」で、今年はタンスなどに眠っているこいのぼりの寄附を広く呼び掛け実現しました。こいのぼりは、5月6日までご覧いただけます。

お子さんが大きくなったり、空き地がなくなったりとこいのぼりが、5月の声を聞いてもそのままになっているというケースが増えています。その一方、都心ではマンション暮らしなどの住宅事情によって、お子さんのために、こいのぼりを上げることができない家庭も増えています。そこで、堀ノ内一・二丁目町会の玉村彰孝会長（73歳）は、こいのぼりが大空を泳ぐ景色を後世に引き継いでいくとともに、地域全体で子どもたちの健やかな成長を願って、たくさんのこいのぼりを泳がせたいと考えました。



町会のエリアの中を流れる善福寺川にロープを渡して、こいのぼりを上げ始めたのは、今から15年前の平成11年です。町会の住民の家に眠っていたこいのぼりを活用して始めましたが、年月が経過する中で、こいのぼりは色あせたり破れたりしたため、少しずつ買い足すなどで、この「善福寺川鯉のぼりの川渡し」の行事を行ってきました。

しかし、町会内だけでこいのぼりを確保し、行事を続けていくことに限界を感じた玉村会長は、今年3月、区広報紙や学校行事などの折に広く呼び掛けました。「タンスや物置の中で眠っているこいのぼりを再び大空に泳がせてみませんか？」の呼び掛けに、17人から50匹あまりのこいのぼりが届けられました。

再び大空を舞うこいのぼり。50匹あまりの寄附を得られたこともあり、昨年同様、大小あわせて約60匹のこいのぼりを泳がせることができました。こいのぼりは、5月6日(火)まで見ることができます。数多くのこいのぼりが泳ぐ姿はとても壮観で、善福寺川の熊野橋や紅葉橋からの眺めが最高です。会場は、地下鉄丸ノ内線方南町駅から徒歩8分。

[問い合わせ先]

総務部広報課：TEL 3312-2111